学校番号	3028

令和８年度　理数科

教科	(専)理数	科目	理数数学特論	単位数	５単位	年次	３年次(文科)
使用教科書	なし						
副教材等	新課程「メジアン数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C［ベクトル］受験編」(数研出版) 改訂版「クリアー数学演習Ⅰ・Ⅱ・A・B・C［ベクトル］受験編」(数研出版) 「2026 数学Ⅰ・A プレノート Full」(数研出版) 「2026 数学Ⅱ・B プレノート Full」(数研出版)						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・授業では知識の蓄積だけでなく，例題および問題演習を積極的に行うことにより，それらの知識を活用する力と論理的に表現する力を育成していきます。
・演習問題を通じて，数学Ⅰ，数学A，数学Ⅱ，数学B，数学C(ベクトル)の内容の更なる定着を図ります。解答を見ずに自分でしっかり解けるよう粘り強く問題に取り組みましょう。
・「予習」→「授業」→「復習」のサイクルをしっかり身に着けましょう。
・問題演習の扱いについては担当者の指示に従ってください。
・家庭学習で既習事項の定着をしっかり図ってください。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
既習単元についての様々な事象を数学的に処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
既習単元についての様々な事象を数学的に捉え，論理的に考察，表現できる。
【学びに向かう力、人間性等】
既習単元の内容について関心をもつとともに，数学的な見方や考え方のよさを認識し，それらを事象の考察に活用する。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	問題演習などの数学的活動を通して，既習単元において様々な事象を数学的に処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。	問題演習などの数学的活動を通して,既習単元において数学的な見方や考え方を身に付けている。	数学のよさを認識し，数学を積極的に活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，事象を数学的に探究しようとする態度を養う。 問題演習などの数学的活動を通じて，他者の解法などを考察し，互いに学びあう姿勢をみせる。

上に示す観点に基づいて，学習のまとまりごとに評価し，学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて，それぞれの観点を適切に配分し，評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				a	b	c
前期	問題演習	理数数学Ⅰ・Ⅱでの既習単元全般	a: 既習単元の基本的な性質を理解し，知識を身につけ，既習単元の内容を用いて表現・処理する仕方などの技能を身につけている。 b: 問題演習を通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 既習の単元の性質を考察しようとしている。問題演習を通じて，他者の解法などを考察し，互いに学びあう姿勢をみせる。	定期考査	定期考査	提出物、授業への取り組みの観察等
後期	問題演習	理数数学Ⅰ・Ⅱでの既習単元全般	a: 既習単元の基本的な性質を理解し，知識を身につけ，既習単元の内容を用いて表現・処理する仕方などの技能を身につけている。 b: 問題演習を通して，数学的な見方や考え方を身につけている。 c: 既習の単元の性質を考察しようとしている。問題演習を通じて，他者の解法などを考察し，互いに学びあう姿勢をみせる。	定期考査	定期考査	提出物、授業への取り組みの観察等

※　表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度